

●第2回理事会 8月30日(金)

11名の理事の内8名の出席で開催されました。2024年度総会決定に基づいて経過報告があり予算の執行状況の中間状況が報告がされました。そして後半の各イベントについて呼び込みチラシをもとに検討がされ、一部変更があって執行することが確認されました。話題には特別強力な迷走台風に関心がありました。そしてアライグマの出没した写真に出席者のほとんどが驚きを示しました。6月に3匹の捕獲が成功したので、これで安心と思っていたらとんでもないことでした。光田先生から京阪奈丘陵には2000頭近くが生息しているであろうとのことで、里山農園付近には500頭ぐらいの存在が推定されるのではないか説明がありました。

●アライグマの出現 無人カメラで確認される。

8月9日の昼間、一度に6匹のアライグマが行動している場面が撮影されていました。各位に送信いたしましたところ京都府自然環境課から視察と研修会の開催の提案が届きました。

「アライグマの防除に詳しい有識者と環境省の職員も含めて現地の視察や外来講習などをさせていただければと考えております。候補日は、12月12日(木)、12月13日(金)です。いずれか1日で現地を見せていただく、もしくは2日間のスケジュールを考えております」と連絡がありました。事務所近隣の農家の皆さんは成果物被害に悩んでおられるとお聞きをします。この取り組みは期待に応えるものとして、成功させたいと思います。1月になりますとヤマトサンショウウオは産卵のために集結してきますし、捕食狙いのアメリカザリガニの対策も始めなければならないと思っています。



●魚とりのための現地確認

9月8日(日)の魚とりの実行可能性を実測のために現地確認を福井波恵さんに行っていただきました。普段は-2.7mの水位です。9月3日の14時段階で-1.90mでした。これから4日間で80cmの水位が下がることが必要です。台風10号の影響で増水が見られましたが里山の会の魚部会の皆さんの協力で何としてでも魚とりを成功させようと意気込んで準備に取り組んでいただいています。このまま順調に水位が下がること、雨が日曜日まで降らない事を祈っています。

参加希望者は15名で(応募者は85名おられたとのこと)そして保護者が15名と里山の会は13名のスタッフと教育委員会からは3名の参加が予定される約50名の取組の予定です。



●国土交通省近畿地方整備局からヒアリングがありました。 9月2日(月)

2日の14:00から国交省淀川河川事務所において河川協力団体に対して国土交通省近畿地方整備局からヒアリングがありました。近畿地方整備局からは河川部河川環境課長の安井耕一さんと河川環境課の小高茂治さんが出席されました。里山の会からは理事長の大村幸正、副理事長の森島

保、理事の播川司、太田敏之と常務理事の山村武正が出席しました。開催された目的は現地の悩みを聞きたいこと。そしてできるだけ解決に協力するつもりだとのことで初めての取組で25団体すべての皆さんからお話を聞くということでした。団体の財政状況・受注活動概要・資器材の保管・人材確保のための工夫・河川管理者との関係に関わっての質問でした。里山の会としては、

❶イタセンパラの復活を目指す取り組み

❷竹サインペン製作作業とその意義

❸中聖牛や竹蛇籠製作講習会の開催と設置などへの協力を強く説明いたしました。どれだけ効果があるのか分かりませんが大切な会議として一生懸命に説明いたしました。



●第27回環境講演会『京都の淡水魚はどうなっているのかな』へのご参加を呼びかけます。

開催日が迫ってきました。まだまだ参加申し込みには余裕がございますので、積極的に皆様の参加をお待ちしております。メールでの申し込みをお願いしておりますが、FAX(0774-64-4183)もどうぞご利用ください。

氏名、住所、電話番号、交通手段のご記入を分かりやすい文字でお願いいたします。

第27回環境講演会 参加案内

京都の淡水魚はどうなっているのかな

ひと昔前には、雨が降って木津川の水位が上がると多くの魚が小川や田圃に昇ってきました。一昔前には野原の小川でメダカは田圃でいくらでも見られました。それがレッドデータに掲載され保護される時代になりました。人間の食事暮らし方も大きく変化しています。川は危険だといって子どもたちは近づかなくなって自然に接する機会が遠くなりました。こうした時、身近なきょうとの魚たち（アユやメダカ・コイやフナ、ドンコ）はどうなっているのでしょうか。改めて地元の魚たちの現状をお聞きする機会（細谷和海先生）をもうけましたのでふるってご参加をお願いいたします。

2024年9月14日（土）13:00~16:00
京田辺市社会福祉センター

演題 『きょうとの淡水魚はどうなっているのかな』
講師 近畿大学名誉教授 細谷和海 先生

参加費 無料

参加申し込み 60人
受付開始 8月1日から開始 定数になり次第締め切り
申込先 fddb257@yahoo.co.jp
記載内容 1氏名 2住所 3参加方法（自家用車・徒歩等）
4電話番号 5メールアドレス



主催 特定非営利活動法人やましろ里山の会 事務所：京田辺市田辺深田15 0774-64-4183
後援 （申請中） 京都府生物多様性センター 京都府自然環境課 京田辺市
京都府教育委員会 京都市町村協議会 琵琶湖淀川流域圏交流会